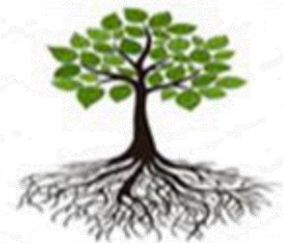


わたしがわたしになる学校

令和4年9月1日 発行責任者 校長 竹下 比登美



二学期始業式～「気持ち」をコントロールしていい「気分」で過ごそう～

学校長が、二学期始業式に、「学校文化をつくる一人一人の存在が大切である」ということについて話をしました

府小っ子のみなさん、さあ2学期の始まりです。藤原君の元気な声に気持ちがひきしまりましたね。

今朝はどんな気持ちで学校に来ましたか？今朝の気分はどうでしたか？

夏休みのように長く休んでいると、学校にいかなくてもなんの変わりもなく、なんの困ったこともなかった。あるいは学校がない方が自分のやりたいことを思う存分やれるから学校に行かなくてもいいやとか、学校に行ったら人と合わせたり、我慢したりしないといけないから学校に行きたくないなと思ったり、いろんなことを思いますね。これは「気分」なのか「気持ち」なのか、どちらでしょう。

「気持ち」と「気分」、似ているようで違います。「気分」というのは動きやすく、変わりやすいものです。だから、コントロールするのは難しい。

「気持ち」はどうでしょう。「気持ち」というのは、「気分」に比べると、もうちょっと賢くて落ち着いたものです。だから、自分でコントロールできます。

人はたいてい「気分」に左右されています。ムカムカする、イライラする、落ち着かないは「気分」です。がんばろう、やってみようは「気持ち」です。私の「気持ち」を分かってほしいとは言いますが、私の「気分」を分かってほしいとは言いませんよね。「気分」は自分の中に秘めておくぐらいでちょうどいいと思います。大切なのは、その「気分」につながっている自分の「気持ち」にちゃんと向き合うことです。今日学校へ来るのがちょっとしんどいなと思った人、そんな自分の「気持ち」に元気を出せ、負けるなということがコントロールです。

私はみなさん一人一人が学校に来る意味があると思っています。なぜなら、この府中小学校をつくるのは、皆さん一人一人だからです。それを学校文化といいます。文化をもつのは人類だけと言われています。人類と動物の違いを決定的にしたのは直立二足歩行です。つまり、立って歩くことです。この直立二足歩行によって、頭や神経の働きがよくなって、言葉が生まれました。言葉によって覚えることができるようになり、覚えたことを使って考えることができるようになりました。こうして、人類は学習能力が高くなって、自分が学習したことを正確にたくさんの人に伝えるようになりました。こうやって文化が生まれたのです。

だから、学校文化は一人では作れない。

府小っ子のみなさんの存在がないと学校文化は作れないのです。

あなたがそこに在ることがとても大切なこと、あなたが府中小学校に来ているということがまずとても大切なことです。

二学期スタートの今日の自分の「気持ち」はどうですか？

今日一日自分の「気持ち」をコントロールしていい「気分」で過ごしましょう。



児童代表の言葉～「満ち」につながるやり抜く自分を目指して～

「二学期にがんばりたいこと」

5年 藤原 璃空

今日からいよいよ2学期です。ぼくは、2学期も学年目標の「みち」をがんばっていこうと思っています。「みち」とは、5年生の最初の学年集会で先生から聞いた言葉です。「みち」にはいろいろな意味があり、まだ知らないことを知っていく「未知」、友達との関係を深めていく「倫」、自分で一生懸命考えて進んでいく自分の「道」、そして、そういったがんばりが自分の中に満ちていく「満ち」などがあります。ぼくは、授業も行事も一生懸命がんばることが学年目標の「みち」につながると思いました。それで、いろいろな場面で手を挙げて自分の意見を言うことをがんばりました。意見を言うためには、しっかり考えないといけません。授業でしっかり考えたので、今まで知らなかったことが分かるようになり、「未知」につながりました。また、ぼくが意見を言うと友達が一生懸命考えてくれ、ぼくの気持ちが伝わりました。それは、「倫」につながったと思います。

でも、ぼくにも苦手なことがあります。それは、無言掃除です。ぼくは、人と話すのが好きなので、ついつい余計な時におしゃべりをしてしまいます。掃除中は、話してはいけないと分かっているけど、自分から話してみたり、友達に話しかけられたりして、無言掃除をすることができないことがあります。そんな時は、先生から注意されて（自分はだめだな。）と自信をなくしてしまいます。掃除をしたくないわけではありません。ついしゃべってしまうのです。だから、2学期はこのついしゃべってしまうことを直していきたいと思います。そうすれば、自分に自信がもてて、「満ち」につながっていくと思います。

2学期には、野外活動があります。野外活動は、きっと無言で行動することがたくさんあると思います。無言掃除をがんばってやるべき時にはやり切れる自分になりたいと思います。2学期も一生懸命がんばっていこうと思います。



生徒指導主事から「椅子に座ってチャイムを聞く」「無言掃除」

先生からは、この2学期に府小っ子全員で頑張ることについて二つお話します。

頑張ることの一つ目は、「椅子に座ってチャイムを聞く」です。みなさんは授業と授業の間の5分をどのように過ごしていますか。一学期の自分を振り返ってみましょう。どのように過ごしていたでしょうか。2学期からはこの5分を「5分休憩」ととらえるのではなく、「授業準備タイム」と考えていきましょう。そうすると、この5分何をしたらよいか分かりますね。「次の授業の教科書、ノートを準備する」「ノートを開いて、線を引いたり残りのページ数を確認したりする」「トイレに行く」「お茶を飲む」「心を落ち着かせ椅子に座る」です。この「授業準備タイム」の意味をよく理解し、自分が何をすべきか考え時計を見て行動し、授業開始のチャイムは椅子に座った状態で聞きましょう。そして、落ち着いた気持ちで授業がスタートできる雰囲気を作りましょう。

頑張ることの二つ目は、「無言掃除」です。みなさん1学期は無言掃除ができましたか。2学期は、小さな声で話したり、ひそひそ話をしたりすることもしないで、一言も声を出さない完全な無言掃除を頑張りましょう。府中小学校では、毎日800人以上の人達が一齐に掃除をしています。800人以上いる全員が確実に「無言」にならないと完全な無言掃除にはなりません。そのためには何が大切なのでしょうか。二つ取り組んでみてください。一つ目は、「掃除前の準備」です。準備には、掃除の手順を全員が知っておくということや誰が何をするのかという掃除の分担を決めておくことなどが考えられます。掃除の仕方DVDを見たり、休憩時間に少し掃除の分担について話をしておいたりすることで掃除時間に掃除のう合わせをしなくて済むはずですよ。二つ目は周りの友達の動きを「よく観る」ということです。掃除の手順を知り、周りの友達が何をしているのかしっかりと観ることで、次に自分が何をしたらよいのか分かるはずですよ。友達や先生に言われなくても自分で考えて掃除をすることができれば、完全な無言掃除ができるはずですよ。また、クラスや友達とどうしたら無言掃除が達成できるのか話し合ってみてください。また掃除時間は、大休憩終了のチャイムと同時に、掃除場所に移動し13:20～13:33まで時間いっぱいします。そして13:33からは掃除の反省をし、終わり次第教室に向かい、13:35には教室にいるようにしましょう。

そして、生活全般に関わっては、まだまだ新型コロナウイルスの心配も残っています。こまめに手洗いや消毒をすること、友達とあまりひつつきすぎないようにすること、給食は準備のときから絶対にしゃべらないことなど、自分自身が気を付けることで、周りの人の命も大切にできるということを意識して過ごしましょう。

2学期は「椅子に座ってチャイムを聞く」こと、「無言掃除」主に、この2つを頑張り根っこをぐんぐん育てていきましょう。

家庭での根っこ育て～親子読書を通して～

夏休みに取り組まれた親子読書はいかがでしたか。親が子供に本を読んで聞かせる、子供が親に本を読んで聞かせる、親子で読んだ本について感想を交流するなど様々な取組をされたようでした。保護者の皆さんの感想からお子さんと一緒に本を通してふれあいながら豊かな時間を過ごして下さったことがよく伝わってきました。これから読書の秋を迎えます。ぜひ引き続き親子読書に取り組んでいただきたいと思います。

「へんしんクイズ」

ほんよみ、とってもしょうずにできていますね。よみかきせもとうしょうじんぶつのかえやようすなどしっかりとひょうげんできていて、きいていてもとてもたのしいよ。これからたくさんのほんとであっておきにいりをおしえてね。
1年保護者

「さっちゃんのまほうのて」

息子が生まれる随分前から持っていた本。今回は久しぶりに私が読み聞かせをしました。最後のお父さんの言葉。「さちこのはまるでまほうのてだね。」の場面も温かみを感じ、愛情あふれるお父さん、お母さんの中でさっちゃんもたくましく育っているんだろうと感じました。これからも親子で時々この本を読んでいきたいと思っています。3年保護者

「エルマーのぼうけん」

私自身小さい頃に好きだった児童書だったので、夜の読み聞かせに提案してみました。最初はあまり興味がわかないかなと心配しましたが、とても集中して聞いているのが分かり、冒険のワクワク感を共有できてうれしかったです。
4年保護者

「世界からボクが消えたなら」

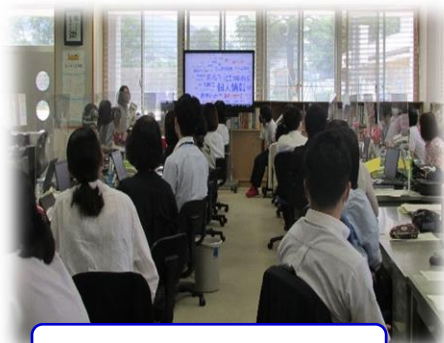
何かを得るためには、何かを失わなくてはならない。そんな話の展開はドキドキハラハラだったね。本の世界はとってもおもしろいよね。これからもたくさんの本との出会いを通して色々感じていってね。
6年保護者

学び続ける教職員～校内研修より

子供たちは、授業で日々多くのことを学んでいます。しかし、学んでいるのは子供たちだけではありません。私たち教職員も夏季休業中に様々な校内研修を行ったり学校の環境整備をしたりします。この夏には、学校安全、情報教育、探求的な学びのある授業について互いに講師になり、学び合いました。子供たちに授業で確かな力をつけていくためにも私たち教職員にとっても大切な研修となりました。

また、トイレ掃除や体育館につながる渡り廊下の白線の塗り直しをするなど授業日から登校する子供たちを迎える準備をしました。

子供たちの根っこを育てるためにも私たち教職員も主体的に自分を磨き、学び続けていきます。



情報教育について



授業力アップに向けて



協議する教職員



先輩教員からの学び



トイレの床磨き



渡り廊下の白線の塗り直し

いじめ防止のための標語作品

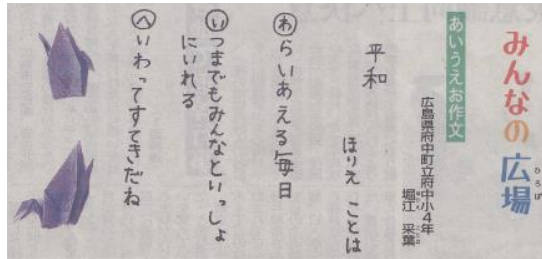
いじめ防止に向けて、全校でいじめの標語を作りました。一人一人がいじめについて考え、みんなに呼びかけたい思いを標語で伝えることができました。

逆の立場になってみよう 人の痛みが見えてくる 保護者 池岡 ゆかり	勇気もち 仲間としての 学年賞 六年 池尻 彩羽 第一歩	「へんなの」は 人をいじめた 学年賞 五年 山内 結月 君達だ	いじめにさ 理由がつくの？ 学校賞 四年 實光 華音 おかしいよ	大じょうぶ 一人一人が 学年賞 三年 小川 愛菜 あなたのまわりで ささえるよ	いじめはね こころがきずつく 学年賞 二年 猪澤 友翔 はものだよ	だいじょうぶ？ やさしくいったら 学年賞 一年 西村 妃織 わらったよ
--	---	--	---	--	--	--

豊かなことばで表現した府小っ子の活躍

児童が豊かなことばで表現した作品が中国新聞や中国新聞デジタル（ぶんタッチ）の「みんなの広場」で紹介されました。

これからもことばの力を発揮する機会を設け、チャレンジをしていきます。



「詩
平和への第一歩」
六年 山下 琴乃
※学校だより8月号
に掲載した作品も
紹介されています。

保護者の方からの嬉しい声を聞くことができました。

毎週土曜日の13時からRCCのラジオ放送「わが町自慢」の番組があります。8月13日（土）の放送の中で府中小学校の保護者の方が府中町の町自慢として「子供の通っている小学校は校舎のいろんな所に図書室があり、本を読むスペースが設置されているんです。それで、図書コーナーが保護者の方により全部装飾してあり、本を読む環境がよく整っていて全国にも知られているみたいです。子供たちも本を読むのがすごく好きなんです。いろんな本を借りて読んでいます。」と本校の図書コーナーについて紹介してくださいました。本校の読書の取組についてよく理解されており、府中町の町自慢であると思っていただけていることがとてもうれしく、誇らしい気持ちになりました。

府小っ子応援団による活動、ありがとうございます

夏季休業中も様々なボランティアさんが府小っ子たちのために活動をしてくださいました。府中小学校は地域や保護者の皆さんの府小っ子たちや学校のことを思う気持ちに支えられています。ありがとうございます。

掃除ボランティア



トイレの床の汚れにセスキをかけて汗を流されながら磨かれ、見違えるほど床がピカピカにきれいになりました。



夏季休業中も定期的に来られ、学校の階段を隅々まではいってくださいました。



フラワーボランティア



プランターの入れ替えや花がら摘みなど玄関前の花を整えてくださいました。卒業生や在校生の子供たちも手伝ってくれました。

環境整備ボランティア



子供たちが落ち着いて過ごせるように教室の壁をペイントしてくださいました。

図書ボランティア



子供たちが本の分類について分かりやすいように本の妖精の人形を10体作られ、いのちの本棚に置かれています。